

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学 教授 志村 努	2245004
国際会議名	光メモリ・画像・計測国際シンポジウム 2024	
会議ホームページ URL	https://www.isom.jp	
開催期間	2024 年 10 月 20 日～2024 年 10 月 23 日（4 日間）	
会場名称	姫路市文化コンベンションセンター アクリエひめじ	
会場住所	〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町 143-2	
開催形式	ハイブリッド形式（対面＋オンライン）	
申請者の役割	組織委員長	

1. 概要

2024 年 10 月 20（日）～2024 年 10 月 23 日（水）の 4 日間に亘り、兵庫県姫路市のアクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター、図 1 参照）において、光メモリ・画像・計測国際会議 2024（International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2024, 略称 ISOM' 24）が開催された。



図 1 アクリエひめじ

本シンポジウムは、光技術全般の研究開発について議論する会合である。国際的な交流を密に行い、光学分野での最新の研究成果を共有し、新たな技術展開の方向性を議論することにより、光に関わる科学技術の発展を促進するとともに、研究者や技術者の人材育成を行うことを目的としている。

本シンポジウムは光エレクトロニクスを含む光学全般を議論する場であり、トピックスは 1. Optical Memory, 2. Imaging, 3. Sensing, 4. Other Related Technologies である。

本シンポジウムは 1985 年に第 1 回の国内シンポジウム、1987 年に第 1 回の国際シンポジウムが開催され、今回は、国際シンポジウムとしては 34 回目、国内シンポジウムを含めると 41 回目の開催となった。

今回のシンポジウムは直近の 5 回と同様に、日本光学会が主催し、光産業技術振興協会に共催、応用物理学会、国際光学会（SPIE）、日本磁気学会、電子情報通信学会、日本化学会、情報処理学会、電気学会、画像電子学会、映像情報メディア学会、精密工学会、レーザー学会に協賛をいただいた。

会議への参加形態は、昨年と同様に現地とオンラインのハイブリッド開催とし、盛況のうちに無事終えることができた。

2. 参加者数と発表件数

今回のシンポジウムでは、5 カ国/地域から 120 名の参加者を集めた。国/地域別の参加者数の内訳を表 1 に示す。

また、論文発表件数は 89 件であった。内訳は、招待講演 15 件（基調講演 1 件、特別招待講演 1 件、一般セッション 11 件、特別セッション 2 件）、一般講演 74 件（レギュラー：口頭 24 件、ポスター 46 件、ポストデッドライン 2 件）であった。一般講演数の

表 1 国/地域別参加者数

国/地域	参加者数
日本	93
中国	19
台湾	4
ヨーロッパ	3
韓国	1
合計	120

表 2 一般講演におけるトピックスごとの発表件数

トピックス	発表件数
Special Session	2
Optical Memory	16
Imaging	27
Sensing	16
Other Related Technologies	13
合計	74



図 2 現地参加者の記念写真

トピックス毎の内訳を表 2 に示す。

参加者数、発表件数ともにここ 10 年の中で 2 番目に多いものであった。現地参加者の記念写真を図 2 に示す。

3. おわりに

貴財団からの助成金は会場費とプログラム等の印刷費に充当できたため、その分を現地で参加した学生の発表者（国外 6 名、国内 11 名）の交通費と宿泊費の補助に使用することができた。未来の研究者や技術者となる人材の育成の一端を担うことができ、感謝する。

なお、今回のシンポジウムで発表された論文の一部は、2025 年 10 月発行の日本光学会の論文誌 Optical Review の光メモリ・画像・計測特集号に掲載される予定である。